

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 3 年 3 月 1 日

事業所名 きらり玉島 保護者等数(児童数) 38 回収数 34 割合 89 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	1	0	3	・小さな動きは十分、大きな動きはやりにくいこともありそう。	・2階のエリアを、職員と一緒に使うことにより、運動できるスペースの確保が出来るようにしていきたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29	0	0	5	・職員の専門性は、分からないが、十分だと思う。	安心して頂けるようさらに専門性を磨いていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	1	0	2	・活動ごとにスペースが仕切られているので分かりやすい。 ・エントランスは、階段あり。	・建物の構造上、バリアフリー化は難しいところはありますが、構造化された環境の工夫は継続して行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33	0	0	1	・利用し始めてから、1度も風邪にかかっていないので、清潔が保たれていると思う。	・コロナ対策も含め、安心して利用していただける環境に気を付けていきたいと思います。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	34	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	31	0	0	3	・詳しいことは分からないが、計画に項目は、入っている。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	34	0	0	0		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	32	1	0	1	・行われている。 ・日々、成長していると感じている。	・引き続き、お子さんに応じた活動を、固定化しないよう実践していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	24	2	2	6	・保育園に所属しているので、色々な年齢の子どもと関わることができている。	・現在は、機会を設けていませんが、ご意見があれば検討していきたいと思います。
保護者への説明	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	33	0	0	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	23	6	0	5	・行われたプログラムもあったが、コロナ禍なので、難しかったのでは、と思う。	・コロナが落ち着いてくれば、保護者に対するプログラムを展開していきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	33	0	0	1	・状況は伝えてあると思うが、共通理解については分からない。	・十分に共通理解を図り、職員によって対応が違う事の無いよう支援します。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	1	0	0		
	15 保護者参加の会を開催する等により、保護者同士の連携が支援されているか	11	9	3	11	・仕事で参加できなかったが、同じ学区の繋がりも出来たと聞いた。 ・保護者参加の会等、他の保護者との情報交換が出来れば、と思う。	・今年度は、コロナの関係で、開催できず申し訳ありませんでした。次年度に向けて、開催できる方法を考えていきたいと思います。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
等	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30	3	0	1		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	1	0	1	・先生によると思う ・お迎えの時間が重なる ・他の方に話が筒抜けになっていると思う。	・配慮に欠け、不快な思いをされ申し訳ありませんでした。 引き継ぎの場所を検討します。
	18 定期的に会報（事業所通信や法人の会報）やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	31	2	0	1	・冊子は配られている。 ・チェックしていない。	
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	31	0	0	3		・ホームページでの発信時には、保護者の方にこまめに確認していただく等、取り扱いには十分に配慮していきたいと思えます。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	27	1	0	6	・定期的に訓練があり、月だよりに載っている。	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	2	0	3	・訓練している。 ・本人から聞いたことがないので分からない。	・訓練は、毎月実施しています。ブログへの掲載や、通信への掲載にてお知らせしていきます。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	33	0	0	1	・通所を嫌がったことは1度もなく、行くのを楽しみにしている。 ・毎日でも通いたい（本人いわく）	
	23 事業所の支援に満足しているか	34	0	0	0	・満足している。 ・今、どのような事が出来たらよいか、どうすればよいか、が分かりやすい。 ・1日のプログラムを丁寧に説明してくれるので様子もよくわかり、大満足。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。